

## 中四国初、空港内作業車両への バイオディーゼル燃料「B100燃料」使用の実証実験を実施

JALは、CO<sub>2</sub>排出量削減への取り組みの一環として、松山空港配備の空港内作業車両「トーイングトラクター（\*1）」にバイオディーゼル燃料濃度100%の「B100燃料」を使用する実証実験を、2023年4月10日より1年間にわたり実施します。

（\*1）空港制限区域内にて航空貨物やお客さまの手荷物の運送用コンテナを牽引する車両

「バイオディーゼル燃料」は植物性の廃食用油から精製しており、原料となる植物が成長過程でCO<sub>2</sub>を吸収していることから、ライフサイクルでのCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにすることができます。また、家庭や地域の飲食店などで排出される廃食用油などを精製して地域で使用する地産地消の循環型エネルギーで、軽油と比べて1リットル当たり2.62kgのCO<sub>2</sub>排出量削減の効果が見込めます。

本実証実験では、専用のトーイングトラクターを1台設定し、年間を通して継続的に「B100燃料」のみを使用することで、エンジンへの影響などを検証し、安定運用に向けた知見を得ることを目的としています。なお、実施にあたっては、株式会社ダイキアクシス・サステナブル・パワー（愛媛県松山市）が「B100燃料」の製造・供給を、藤村石油株式会社（愛媛県松山市）が給油を担当します。

JALは、今後も空港内車両のCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

### ■ 期間

2023年4月10日～2024年4月9日（1年間）

### ■ 対象空港

松山空港（愛媛県松山市南吉田町2731）

### ■ 対象車両

松山空港配備 JALトーイングトラクター 1台

### ■ 実験内容

バイオディーゼル燃料濃度100%の「B100燃料」を  
トーイングトラクターに使用

### ■ 問い合わせ先

日本航空株式会社 松山支店 TEL 089-972-1833



以上